

AIによる製缶工数の具象化と付加価値を高める企業構造の具現化

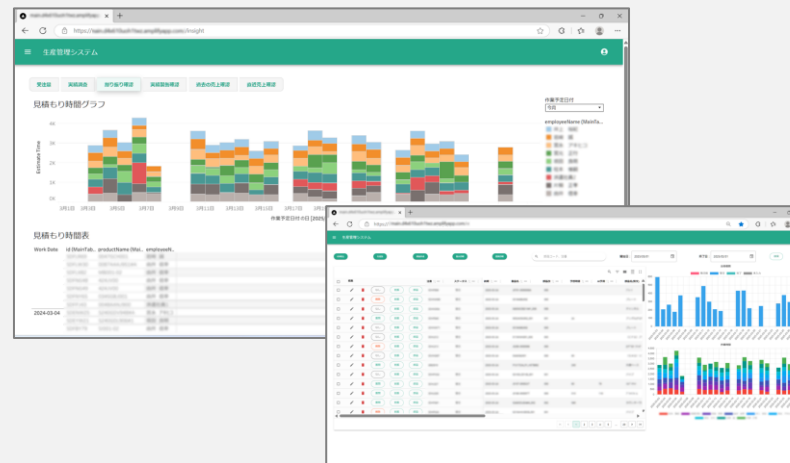
1 事業の概要

ベテラン社員の暗黙知に頼った生産計画により納期変更や急な受注増に対応できず、納期問題につながる恐れがあった。昨年構築した、AI活用の製缶工数を算出する、生産管理システムを基盤とし、作業進捗や実績工数が把握できる仕組みを整備し、AI、BIツール導入によるデータ可視化に取り組んだ。

2 成果

- 生産管理システムへのAI搭載にて生産計画立案業務が3時間/日→50分/日に短縮
- BIツールによる進捗・実績可視化により、特急品の納期回答が1h→10分に短縮
- DX人材育成として、AI・データ活用セミナーを製造現場管理者、実務メンバーに実施したことで理解が進み、システム導入時の抵抗抑制、DX推進の積極姿勢に変わった

3 実施内容 (1) AI生産管理システムを導入し、計画自動割振り・分析・受注状況把握 (2) 人材育成



データ分析スキルやシステム連携スキルの向上を目指し、製造現場管理者、実務メンバー対象にAI・データ活用セミナーを開催

- AI及び分析の基礎講習、工場実務への展開例、生成AIの運用実践学習